

あいちの印刷

11

2015.11
No.528



旧三笠ホテル（重要文化財・長野県軽井沢町）

目次

- 巻頭言「どうする？若者の未婚化」 3
- 「全印工連創立60周年記念事業」 4
- 全印工連60周年記念事業・記念式典より
島村博之会長の挨拶 5
- 愛印工／理事会・支部長会
60周年事業への多数の参加を要請 6
- 愛印工組60周年記念特別経営セミナー
「独自の価値を手に入れる！」 7
- 経済産業省・平成26年工業統計速報値
印刷・同関連業は5兆3898億円。前年比0.6%減 8
- 身近な催し物のお知らせ 9
- 愛印工・セミナー
「経営者保証に関するガイドライン」 10
- 愛印工・技術セミナー
「印刷現場を変える三つの秘策」 11
- 日印産連セミナー
オフセット印刷工場の有機溶剤管理と
オフセット印刷工場用VOC警報機 12
- 愛知県印刷工業組合「創立60周年記念事業」のご案内 13
- 60周年記念前夜祭のお知らせ 14
- 光文堂「Print Doors 2016」第52回光文堂新春機材展 14
- 編集だより 14

60th
Anniversary
愛知県印刷工業組合60周年

人に 社会に 想いを カタチに

o///o 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

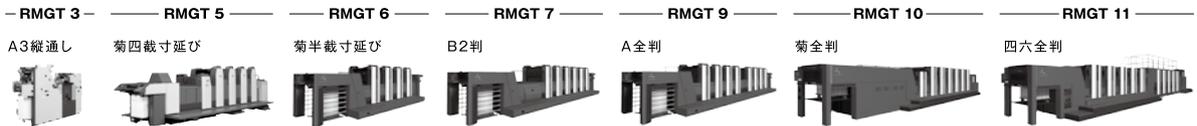


ともに、世界へ彩りを。

2015年7月、リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は
シンボルマークとコーポレートメッセージを新たに決めました。

「ともに、世界へ彩りを。」というコーポレートメッセージには
お客様はもとより、印刷業界に携わる全ての皆様と信頼関係を築き、
ともに、彩りのある社会づくりに貢献したいという想いが込められています。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は、独自の技術をもとに、
様々な印刷機やサービスをグローバルに提供してまいります。



リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市長白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して **ERC**シリーズ誕生。



ERC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市中新開2-13-16 TEL 0729-66-3330 FAX 0729-66-3323 〒578-0911
四国営業所 愛媛県四国中央市豊岡町長田216 TEL 0896-25-1302 FAX 0896-25-1344 〒799-0435

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦瀬1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

どうする？若者の未婚化

マーケティング委員長 鬼頭則夫

先日、NHKのニュースで「恋愛戦線に異常あり!? どうする？若者の未婚化」という特集が放送されていました。なんと異性の交際相手も友人もない若者が半数を越え、未婚化が加速しているそうです。

平成25年版の厚生労働白書から「生涯未婚率」といって、50歳になっても一度も結婚していない人がどれくらいいるか、全体の比率を出したのですが、1950年当時は男女とも1%程度。ところが最近の20から30代の方のアンケート調査では男子は約62%、女子は約52%だそうです。そのため、NHKが独自に「なんで異性のお付き合いが減ってきていると思いますか？あなたの世代で」というアンケートをとった結果、「自分の時間が大事で恋の時間がない」、「出会いの仕方が分からない」、「金銭的な余裕がない」などの答えを抑え、なんと一番多かった答えが「めんどくさい」だそうです。この番組の最中に入ってきたツイッターの声に「時間もお金もかけて上手くいかないと、それまで費やしたものが無駄になるから」というのを聞いたときに、ちょっと思い出したのが脳科学者中野信子さんのお話でした。その対談の中の一節に「恋愛は脳を麻痺させること」と

いう話がありました。引用すると『生物には2つのミッションがあります。1つは自分という「個」が生き残ること。もう1つは、「子孫を作り、種を残す」ことです。「個」が生き残るためには知性は必要ですが、種を残す行為は決して「個」にとって利益になることがあるとは言えません。…中略…なので、人間は恋愛をするのです。恋愛というのは知性を麻痺させることです。知性を麻痺させ、合理的な判断力を低下させなければ、ヒトは、種を残すという個体の生存にとって不利益になる行為ができないのです』と話してみえました。なるほど、確かに今の若い人たちは知性を麻痺させることが苦手なんだと思います。もっと馬鹿になって、もっと失敗して、もっと行動して…。何にでも勝ち負けで判断する今の社会に反発して、利益だけではないもっと生き物らしい行動をさせるために、それを受け入れられるような社会に、僕達を変えていかなければならない岐路にたたさされているような気がしてなりません。皆さんはどう思われますか？



こんな加工できる…

困ったな…

こんなお困りの方

しどうしよう…

どこに相談したら…

中部No.1のスピード納品
私たちが
尚友社が
試作品無料にて作成いたします

創業 大正8年の実績と信頼

和洋特殊美術製本

有限会社 尚友社製本所 / アイデア創作工房
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目14番19号 富田ビル
TEL.052-301-9900 FAX.052-301-9940
<http://www.shoyusha.co.jp>

「全印工連創立60周年記念事業」 全国47都道府県工組から900余名が集う



木野瀬吉孝理事長 全国中小企業団体中央会会長表彰受賞

900余名が参加した記念式典会場

全日本印刷工業組合連合会（島村博之会長／以下、全印工連）は、10月16日東京・丸の内のパレスホテル東京で「全印工連創立60周年記念行事」を開催。全国の各県工組役員・会員、来賓、関連業者ら900余名が参加し盛大な記念行事が催された。創立60周年記念表彰では、経済産業大臣表彰に浅野健氏ほか2名。また、全国中小企業団体中央会会長表彰を木野瀬吉孝理事長ほか7名が受賞した。堀江貴文氏の記念講演の後、記念パーティに移り60周年を祝った。

表彰を受ける木野瀬理事長

記念式典は、全員による国歌斉唱、印刷産業人綱領唱和に続き島村会長が挨拶。（島村会長挨拶は別項参照）

来賓紹介が行なわれた後、来賓を代表して、経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課・平井淳生課長が挨拶に立ち、「印刷業は、文化である。我々の国民生活、あるいは日々の商業になくってはならない産業である。特に中小の印刷産業の方々は地域に根ざした産業として、地域経済の活性化に大きな寄与をしてきた。印刷の長い歴史の中では短い60年であるが、この60年間は、それまでの500年以上に相当する時間よりもさらに大きな技術革新があったと感じている。特に社会が大きく変化し、その大きな変化の中で印刷産業の皆様は大変な苦労をしながら、日本の経済を力強く支えてきたと思っている。特に60年間の後半を考えると、例えば環境問題への注目の集まりや顧客志向を目指すCSRの取り組みにも注目され始めた期間である。昨今ではデジタル化、情報化が業界に大きく影響を及ぼしている。こうしたものを成長のチャンスと捉えて、新しい産業の構造を造っていく時期に差し掛かっていると考え。経済産業省としても、地域の再生、景気回復の実感を津々浦々に行きわたらせることを大きな政策の課題と捉えている」と述べた。

次いで、一般社団法人日本印刷産業連合会稲木歳明会長が挨拶し、「全印工連は、島村会長の話にあったように、60年前の7月に全国各地の印刷工業調整組合が結集した中小印刷業界の全国団体として、当時の石橋湛山通商産業大臣から認可を受けたという経緯である。以来60年の間、業界の安定と基盤強化、そして近代化を目指し、構造改善事業や生産工程の

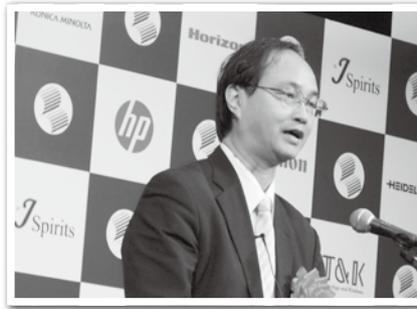
自動化などに取り組んできた。業界を取り巻く環境の変化に敏感に反応して、業態変革に不断的な努力を積み重ねてきたことで、今日このような盛大な記念式典を開催できたと確信している。一昨年は新産業ビジョンとして、『印刷道～ソリューションプロバイダーへの進化』を発表した。さらに本年は新成長戦略として『全印工連2025計画』の作成を本格化させながら、さらなる発展に向けた布石を着々と打っている。こうした努力は必ずや大きな成果に繋がると期待している」と祝辞を述べた。

続いて、業界功労者の60周年記念表彰に移り、経済産業大臣賞をはじめ各賞の受賞者が表彰された。受賞者を代表し浅野健氏が謝辞を述べた。表彰式の後、堀江貴文氏（元ライブドア）を講師に招き記念講演が行なわれた。その後、60周年記念パーティに移り、開会の辞を臼井真人60周年記念実行委員長が行ない、水上顧問の乾杯の発声で祝宴に入った。全国都道府県工組から参集した900余名が60周年を祝い、将来の発展に向け新たな決意を確認した。

- 経済産業大臣表彰／●浅野健（㈱金羊社社長、全印工連理事・顧問、東印工参与理事）、●水上光啓（水上印刷㈱会長、全印工連理事・顧問、東印工参与理事）、●西井幾雄（㈱NPCコーポレーション社長、全印工連相談役、大印工理事・顧問）
- 全国中小企業団体中央会会長表彰8名（関係分のみ）／●木野瀬吉孝（木野瀬印刷㈱社長、全印工連副会長、愛印工理事長）、●四橋英児（ヨツハン㈱社長、全印工連常務理事、岐阜印工理事長）
その他、中小企業長官表彰5名、経済産業省商務情報政策局長表彰14名、全印工連会長特別賞2名、全印工連会長特別表彰92名が受賞した。（敬称略）



島村博之全印工連会長



平井淳生経済産業省産業課課長



稲木歳明日印産連会長

全印工連60周年記念事業・記念式典より 島村博之会長の挨拶

全印工連は昭和29年7月19日、日本印刷工業調整組合連合会として創立した。当時は、全国各地で調整事業への取り組みが開始され、難航していた印刷料金の適正化を図ろうとしていた時代である。歴史を紐解くと、さらに遡ること80年、今から約140年前、明治維新後の文明開化の荒波の中で、業界における価格競争と価格破壊は既に深刻な問題であった。この状況を脱するために各地で組合が立ち上がったと言っても過言ではない。その一つである東京活版組合の発起人が明治23年の創立の際、組合誌の創刊号の冒頭で次のような挨拶をしている。『印刷業の有様を見るとその状況は実に甚だしい。しかもその原因が何れにあるかと言えば、まったく節度がない無制限の競争より発する弊害たるに他ならない』。125年前と今と状況は余り変わっていないのが見て取れる。その後も印刷業は発展と衰退、隆盛と挫折を繰り返し、昭和に入り大東亜戦争が終結し、旧来の印刷組合はGHQによって解散に追い込まれた。

そして再出発をかけたのが我々の前身である印刷工業協同組合である。昭和29年に入ると各地で調整組合が立ち上がり、全国組織として全印工連の前身である全印工調整組合連合会が設立した。昭和32年に中小企業団体会法が施行されたのを機に、調整組合は工業組合に組織変更されていった。ただ印刷工業組合に変わってからも、価格問題は相変わらず存続し、印刷料金適正化運動は引き続き大きな課題となっていた。そ

れから6年後、昭和38年4月に近代化促進法が施行された。当時の執行部は印刷業界が指定業種となるべく、この法律の施行前から全精力を上げて、猛烈な運動を展開した。その結果、2年目の昭和39年4月に晴れて指定業種になることに成功し、組合活動の柱となる構造改善事業がスタートした。価格調整が主たる事業であったこの時代に、新たに加わったこの事業が、小零細企業の業務改善にどれほど貢献したのか、まさに計り知れない成果を上げたことに疑いの余地はない。

36年後、平成11年に近代化促進法がなくなり、構造改善事業が終わりを告げ、組合の求心力が一機に低下した。その時の執行部の苦勞は想像するに難くない。そんな中で共創ネットワーク、ワンストップサービス、業態変革と、まさに組合運営の近代化にハンドルをきった執行部の先輩の諸氏、そしてその方向転換にしっかりとベクトルを合わせてきた先輩組合員の皆がいた。こうした方々のおかげで今の組合活動があると思っている。印刷業は世間からも、行政からも、衰退産業であると言われ始めた昨今、実は成長産業であると導いてくれているのは、この組合以外の何者でもない。

まだまだ前途多難な業界ではあるが、今いる組合員は全員、明るい未来を抱き、そこに向かって更なる業態変革を繰り返し、その時代、その時代にしっかりと勝ち残れる力を持っていると確信している。

Giving Shape to Ideas



色校正
Fallbard AQUA®

環境対応プレート
ケミカルレスCTPシステム
BLUE EARTH®

デジタル印刷システム
bizhub PRESS
C1100/C1085

bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
PPG事業統括部 PPG営業統括部 中部営業部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

■愛印工／理事会・支部長会

60周年事業への 多数の参加を要請

下期、多彩なセミナーを計画中

愛印工組の平成27年度9月期理事会・支部長会が、9月29日メディアージュ愛知3階会議室において開催され、今後のスケジュールなどが確認された。出席者25名。

理事会は、河原善高専務理事の司会進行で進められ、冒頭挨拶に立った木野瀬理事長は、「60周年の事業は、それぞれの担当の方が責任感を持って遂行している。我々はそれをもとに協議して前進させるだけで良いという状態になっている。これは愛印工60年の底力が結集されているのだと感じる」と強調。次いで、全印工連に話を移し、「全印工連の執行部の若い人は本当に業界のことを思って、一生懸命やっている。そのことが結果として現れてきており、新しい試みとなって開花している。その一つは、全印工連60周年『還暦の集い』のスポンサーの集め方、式典、懇親会の持ち方である。さすがだと感じた。目に見える型でスポンサーに還元できる形をとっている。そしてプロモーションもどう見せるか、しっかり考えられている。これからの我々の活動のみならず、お客様に提案する時の参考にもなる」と評価した。さらに、用紙値上げの独禁法に触れ、「高井理事長のとき、我々は“用紙が一気に値上げが認められるのは独禁法に違反するのではないか”と公正取引委員会に申し入れた。“全然問題ない”と、意見は聞いてくれたが前には進まなかった。先日、中小印刷産業推進議員連盟の総会で全印工連より問題提議されたのを受け、議員連盟が問題視し公正取引委員会に話を持ち込んだ。“談合・カルテルを調べ、積極的に摘発する”との返事を得た。大きな前進である」と報告した。

その後、木野瀬理事長を議長に議事に入り、組合員の加入、脱退が事務局より報告された。加入2社と脱退1社が報告され承認された。続いて、各委員会の事業報告が行われた。



理事会・支部長会で挨拶をする木野瀬吉孝理事長

■三役直轄事業は、細井俊男副理事長が「第6回ポスターグランプリ」について、9月18日の審査会においてグランプリを初め入賞、入選作品が決まり、作品展が11月3日から8日愛知県美術館、表彰式が11月3日に行なうと報告。

■経営革新委員会事業は、北村英一副委員長が10月14日の「経営セミナー」、来年開催予定の企業見学会（浜岡原発）を平成28年2月実施に向け調整中である旨報告。

■マーケティング委員会事業は、鬼頭則夫委員長が「第2回新しいビジネスモデルを考える研修会」については、現在講師を選定中であると報告。

■CSR・環境委員会事業は、山田慎二委員長より10月21日開催の「環境推進工場登録制度」説明会、11月11日開催のCSRセミナーについて報告した。

■ブランディング委員会事業は、荒川壯一委員長が印刷PRムービーと連携する紙媒体制作でDMはがきを愛知県内の主な大学、短大、デザイン系専門学校就職支援担当者に送付したと説明。また、「中小企業経営者と学生との交流会」に参加し、10月23日中京大学、10月28日中部大学において印刷産業をPRすると報告。さらに、11月27日に行なうブランディングセミナー「人材採用と定着率向上について」の開催にも触れた。

■労務・新人教育委員会事業は、堀裕史委員長が永年勤続優良従業員表彰（11月1日）、特殊検診について説明。また、10月23日「ハラスメント対策セミナー」、11月13日労働局から講師を招聘し、ものづくり人材教育や技能検定に関係す

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

る「助成金説明会」の開催を報告した。

■教育委員会事業は、松岡祐司副理事長が実施済みの各セミナーと来年開催予定の「印刷の後加工からみた提案」セミナー、平成28年2月26日「見える化セミナー」開催について、さらに、技能検定「DTP作業(製版職種)」平成28年度実技試験実施に向け調整中である点が報告された。

■組織・共済委員会は岩瀬清委員長が共済制度加入促進運動について随時進行中の現状が報告された。

■青年部は、飯野益通理事が11月開催の名古屋而立会との共催セミナー「みんなを巻き込み仕事を生み出すプロジェクト

トリーダー論」について説明を行なった。

■創立60周年記念事業委員会は、鬼頭則夫委員長が平成28年1月13日名古屋東急ホテルにおいて行なう記念事業について報告し、9月期理事会が終了した。

続いて行なわれた支部長会では、各支部の取り組みが報告されたが、その中で、60周年事業への全員参加に向け活動中の支部が多数紹介された。

次回理事会は、12月2日14時30分(メディアージュ会議室)開催を確認し終了した。

■愛印工組60周年記念特別経営セミナー 「独自の価値を手に入れろ！」 成長する条件は継続することにある

坪井秀樹氏が講演
(TOSBOI STUDIO代表取締役)

愛印工組・経営革新委員会(田中賢二委員長)が主催する60周年記念特別経営セミナーが、10月14日ウイंकあいち(愛知県産業労働センター)において開催され、講師に坪井秀樹TOSBOI STUDIO代表取締役を招き、「独自の価値を手に入れろ！」をテーマに行なわれた。セミナーは一般参加を含め160名が聴講した。

セミナーの冒頭挨拶に立った岩田秀樹委員は、「今日は一般の方も34名参加している。印刷業界はまだまだ厳しい状況が続いているが業界外も同様だと思う。本日のセミナーは非常に楽しい中に役に立つセミナーになると思う。厳しい状況の時代だからこそ、楽しく仕事をこなすことでこの状況を乗り切っていただきたい」と述べた。

* * *

講師を務めた坪井氏は、1965年名古屋市生まれ。大学卒業後パリコレブランドの(株)ワールドに入社。記録的な営業成績を挙げるが、家業を継ぐために5年で突然の退社。その後、リサイクルショップ「買取王国」を立ち上げ、約10年で株式上場へ導いた。現在、起業準備をする間もなく、講演やセミナー、業績アップのための経営支援などの依頼が殺到している驚異のプータロー。日々更新されるブログなど



のSNSには独自の経営理論が満載されている。メーカー、卸、小売の業態を知り、アルバイト、サラリーマン、後継者、創業者の経験を持つ同氏が実体験に基づいた「坪井式ビジネス理論」を展開した。

セミナーの中で、「3つの置

実体験に基づいた経営理論を講演する坪井講師。人生のコンセプトは「わくわく、ドキドキ、大発見！」



講演に聴き入る160名の聴講者

き換えを意識すること」を取り上げ、「①直接置き換え=よい物は真似る。成果が上がった販促物はそれなりに人の目に触れ動機付けしたことになる。②中間置き換え=異業種、異業態の人達が普通にやっていることで自分の業態では珍しいことをやると破壊的に独自化するパターンがある。③本質置き換え=目には見えない大切なこと(本質)を『自分にとってどういうことか』(現象)に置き換える。印刷業を家族で経営してきて暖かい場所であったら、厳しくなった時には、商品を暖かさを感じる時流のものに切り替えていく」と提言。

時代の変遷とともに、「何を売るか」から「いかに売るか」の時代が変わった。「あなたの価値は何か」、「独自の価値は何か」、「同じ発注をするならあなたに発注する理由はどこにあるか」に対して、「自分なりの答えを出す。そして、独自の価値を見つけてきちんと伝えなくてはならない。成功する条件は継続することである」と指摘する。

また、ある印刷会社は、「グレーの色出しがきちんと細かく出せるように研究開発している。高い機械も買っている。組版もきちんとやっている。でも、客数が減っている」という。こんな場合、一度、他の業種業態に置き換えてみる。例えば、ラーメンを食べに行ったら、「ここは味を一生懸命追求していないだろう」という前提はない。「普通の技術、設備はプロなら当たり前で、選択される要素ではない。まずは、自分から情報を出し知ってもらうことから始めなくてはならない」と促した。

産 業	項 目	製 造 品 出 荷 額 等					
		平成25年			平成26年		
		金額(百万円)	前年比(%)	構成比(%)	金額(百万円)	前年比(%)	構成比(%)
合 計		292,092,130	1.2	100.0	303,418,825	3.9	100.0
09	食料品製造業	24,948,095	2.7	8.5	25,678,473	2.9	8.5
10	飲料・たばこ・飼料製造業	9,500,444	▲1.2	3.3	9,583,113	0.9	3.2
11	繊維工業	3,767,913	▲3.9	1.3	3,799,187	0.8	1.3
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	2,436,380	9.6	0.8	2,486,316	2.0	0.8
13	家具・装備品製造業	1,819,001	5.1	0.6	1,886,164	3.7	0.6
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	6,741,136	▲1.1	2.3	6,934,213	2.9	2.3
15	印刷・同関連業	5,420,686	▲1.1	1.9	5,389,805	▲0.6	1.8
16	化学工業	27,409,230	5.3	9.4	28,179,304	2.8	9.3
17	石油製品・石炭製品製造業	17,675,643	3.5	6.1	18,391,886	4.1	6.1
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	11,237,336	1.2	3.8	11,355,280	1.0	3.7
19	ゴム製品製造業	3,112,878	▲2.0	1.1	3,197,012	2.7	1.1
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	350,043	0.2	0.1	344,216	▲1.7	0.1
21	窯業・土石製品製造業	7,056,284	3.3	2.4	7,298,216	3.4	2.4
22	鉄鋼業	17,905,277	▲0.6	6.1	19,199,289	7.2	6.3
23	非鉄金属製造業	8,805,964	▲1.3	3.0	9,378,159	6.5	3.1
24	金属製品製造業	13,060,603	1.6	4.5	13,808,463	5.7	4.6
25	はん用機械器具製造業	10,230,928	▲3.7	3.5	9,843,819	▲3.8	3.2
26	生産用機械器具製造業	15,154,929	▲2.5	5.2	16,521,727	9.0	5.4
27	業務用機械器具製造業	6,705,229	▲3.1	2.3	7,027,059	4.8	2.3
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	12,943,406	▲3.0	4.4	13,810,489	6.7	4.6
29	電気機械器具製造業	15,458,146	3.2	5.3	16,904,324	9.4	5.6
30	情報通信機械器具製造業	8,426,714	▲2.3	2.9	8,546,114	1.4	2.8
31	輸送用機械器具製造業	58,203,152	3.0	19.9	59,934,341	3.0	19.8
32	その他の製造業	3,722,713	▲0.8	1.3	3,921,853	5.3	1.3

産業中分類別 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

経済産業省・平成26年工業統計速報値

印刷・同関連業は5兆3898億円。前年比0.6%減

経済産業省から平成26年(2014年)の工業統計速報が公表された。「印刷・同関連業」(従業者4人以上の事業所)の製造品出荷額等は5兆3898億円。前年比0.6%減となっているが、過去2年に比べて減少幅は最も少ない。事業所数は1万1626事業所で前年比4.7%減、従業者数は26万7475人で同3.3%減(いずれも従業者4人以上の事業所)。出荷額との対比では、1事業所当たりの出荷額は増加傾向にあるといえる。

経済産業省では、26年12月末現在で実施した工業統計調査結果(4人以上の事業所)のうち、従業者10人以上の事業所について分析を取りまとめている。

それによると、全製造業の傾向として、事業所数は2年連続の減少(前年比1.7%減)、従業者数は3年ぶりの減少(関0.4%減)。製造品出荷額等は3年連続の増加(同4.0%増)、付加価値額は2年連続の増加(同1.8%増)となった。都道府県別の製造



Color & Comfort by Chemistry






変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DIC グラフィックス株式会社
ディーアイシー
<http://www.dic-graphics.co.jp/>

本 社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
電話03-6733-5001

名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15
電話052-951-9336

NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS

品出荷額等は、44都道府県が増加、3県が減少だった。

産業中分類24産業のうち、事業所数は21産業が減少、従業者数は13産業が減少し、いずれにも「印刷・同関連業」が含まれる。製造品出荷額等は21産業で増加したが、「はん用機械」、「印刷・同関連業」、「なめし革・同製品・毛皮」の3産業は減少した。

4人以上事業所でみた「印刷・同関連業」の製造品出荷額等は、全製造業の約1.8%にあたる5兆3898億500万円（前年比0.6%減）。25年の1.1%減、24年の1.2%減に比べると下げ止まりの傾向が見られる。リーマンショック翌年の21年が8.4%減、22年が2.1%減、東日本大震災が起きた23年が8.2%減と続いた後は、1%前後の減少で推移している。

26年は、2月から3月にかけて消費税率8%への引上げに伴う駆け込み需要が印刷業界を潤したが、その後の反動が響いた。印刷・情報紙の国内出荷量も長期的に前年同月比減が続いており、27年の製造品出荷額等は再び減少幅が大きくなる可能性がある。

「印刷・同関連業」の26年の事業所数は1万1626事業所（前年比4.7%減）、従業者数は26万7475人（同3.3%減）、付加価値額は2兆3643億5200万円（同2.4%減）、原材料使用額等は2兆7299億1600万円（同0.7%減）

なお、「パルプ・紙・紙加工品製造業」（4人以上事業所）の製造品出荷額等は6兆9342億1300万円で、前年から2.9%増加している。

都道府県別に製造品出荷額等の上位3位までの産業をみると、東京都のみ第2位に「印刷・同関連業」が入っており、8兆1327億円の出荷額の約12.2%を占める。

都道府県別の「印刷・同関連業」（10人以上事業所）の製造品出荷額等では、滋賀県が前年比43.6%増、栃木県が同7.8%増、岐阜県が同7.2%増と高い一方、北海道が同14.0%減、宮城県が同12.1%減、宮崎県が同10.8%減と落込みが目立つ。

「印刷・同関連業」「はん用機械」「なめし革・同製品・毛皮」の3産業減少

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
11月27日(金) 18:30～20:00	事業名	平成27年度第一回ブランディングセミナー
	場所	メディアージュ愛知 3階会議室
	講師	梶田 貴俊 氏
	演題	“ゴーイングコンサーン(継続企業)”の条件 ～労働力の確保と定着～
	参加費	組合員1,000円 一般2,000円
	定員	40名(先着順)
平成28年 1月12日(火) 18:00～20:00	事業名	愛知県印刷工業組合 創立60周年記念前夜祭
	場所	ウイングあいち 10階1001大会議室
	講師	山元 賢治 氏
	演題	～リーダーの覚悟 これからの企業リーダーに求められること～
	参加費	無料
	定員	150名
申込期日	定員に達し次第	

●身近な催し物のお知らせ(関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
12月3日(木) 18:00～21:00	事業名	第3回クロスメディアカンファレンス
	場所	ウイングあいち 5階小ホール
	ゲスト	津田 大介 氏
	参加費	一般3,000円 学生1,000円
	定員	150名
	申込期日	定員に達し次第

■全印工連CSR認定

ワンスター認定(株)荒川印刷 / ツースター認定(株)マルワ

全日本印刷工業組合連合会は、第10回全印工連CSR認定委員会において、第10期ワンスター認定企業5社、第2期ワンスター認定更新企業18社、第2期ツースター認定企業2社を新たに更新した。これによりCSR認定企業は、平成27年10月現在で計91社となった。

【第10期ワンスター認定企業】

(株)荒川印刷(愛知県名古屋)、富士製版印刷(株)(大阪府大阪市)、(株)明朗社(愛媛県伊予郡)、西日本ビジネス印刷(株)(福岡県福岡市)、(株)啓文社(熊本県上益城郡)

【第2期ツースター認定企業】

(株)マルワ(愛知県名古屋)、杉山メディアサポート(株)(静岡県浜松市)

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



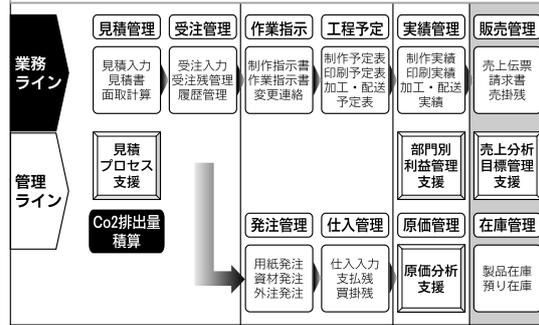
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』 『今こそ!!情報の見える化(MIS)』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました!



株式会社 **モトヤ** 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 TEL. 03-3623-8711

「経営者保証に関するガイドライン」
経営者保証制度が変わりました!!

中小企業・小規模事業者の経営者の皆さんへ

愛印工組では、10月20日メディアージュ愛知会議室で、経営者保証制度が変わったのを受けて、「経営者保証に関するガイドライン ～周知・普及に向けて～」のセミナーを開催。セミナーは、独立行政法人中小企業基盤整備機構の経営者保証ガイドラインチーフアドバイザー山口芳幸氏を講師に招きガイドラインのポイントが説明された。出席者は30名。

冒頭、木野瀬理事長は、「今年の総会でプロになるための1年にしたいということで、『私たちの業界は多くのお客さまに支えられ、発展をしてきました。その歩みを継続させるには、お客様が頼りにするプロとしての役割が求められます。経営者には自社の方向性の確立からCSRや金融対策まで、きめ細かな学びの場を、社員さんには機械メンテナンスから営業戦略、デザイン力の向上等、部署別にプロとして学べる機会を提供します』と発表した。今日はまさしく金融対策である。殆どの方は『経営者保証に関するガイドライン』という言葉を目にしていらないと思う。昨年の2月に日本銀行協会と日本商工会議所がその方針を進め、国もそれを全面的にバックアップすることになった。ただし、このガイドラインは、金融機関は一



「経営者保証に関するガイドライン」セミナー

切口を嚙んでいるし、国から来た印刷物は金融機関で止まって、我々のところへは届いていない。端的にどういう制度かという、個人補償、個人担保なしにお金を借りることができる、という制度である。今はそういう時代である。何か起きても身包み剥がされるのではなく、しっかりやり直しができる。ただし、3つの要件があり、この3つの要件を経営者、会社がクリアすれば可能になる。詳細は山口先生から話しがあるのでしっかりと聞いていただきたい」と挨拶。

続いて、セミナーに移り、「経営者保証に関するガイドライン」の詳細が紹介された。

融資を受ける際の慣行のように、「経営者による個人補償(経営者保証)」が重荷になってはいないか? 「経営者保証に関するガイドライン」を使って金融機関と協議することで、経営者保証を提供することなしに融資を受けられたり、事業再生・清算を決定した際に、必要な生計費などを手元に残したりすることができるようになる可能性がある。ガイドラインの概要を理解し、必要な局面でガイドラインが活用できるように経営改善活動を展開していただきたい。

経営者保証とは、経営者が中小企業の借入金についての保証人となった場合、あるいは、中小企業が倒産するなどして借金を返せなくなった場合、経営者自身が、保証人として借金を返さなくてはいけなくなる。

今回変わった経営者保証制度では、一定の要件を満たせば、「①経営者が個人補償を提供しなくても借り入れができる可能性がある。②既にある経営者保証契約についても解除や保証金額の変更ができる可能性がある。③事業再生・廃業を決定した場合、一定期間の生計費や華美でない自宅を残すことができる可能性がある」。

しかし、このガイドラインは法律ではないので、貸し手と借り手の継続かつ良好な信頼関係の構築・強化が必要である。さらに次の要件を満たす必要がある。

「①法人と経営者との明確な区分・分離/法人の事業活動に必要な本社・工場等の資産は、経営者所有とせず、法人所有が望ましい(分離が困難な場合、法人が経営者に賃料を支払うことで実質的に分離しているものと考えられる)。社会通念上適切な範囲を超えた役員報酬・賞与、配当を控えるなど。②財務基盤の強化/会社の資産や収益力で借入返済が可能と判断できる財務状況及び経営成績が期待できる。判断基準として、自己資本比率、使用総資本事業利益率、インタレスト・カバレッジ・レシオなどがある。③経営の透明性確保/金融機関

盛功社の創業は1889年。2014年に125周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒416-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL.(0568) 39-0501

との信頼関係の構築が大事。年1回の決算報告のみならず、試算表・資金繰り表等の定期的な報告。情報開示後に、事業計画・業績見通し等に変動が起きた場合の自主的な報告と適時適切な情報開示。情報開示は、税理士など外部専門家による検証結果と合わせて開示が望ましい。

経営者保証ガイドラインを利用した保証債務の整理の特長について次の点を指摘。

「①保証債務の整理に当たっては、主たる債務と保証債務を一本で検討。全ての金融機関の同意が必要。②財務評定基準時以後の収入や新得財産は、保証債務の原資とはならない。③経営者の帰責性等を総合的に勘案、一定の経済合理性が認められる場合には経営者が引き続き経営に携わることを許容する。④ガイドラインに沿って保証債務を減免・免除する場合は、保証人および金融機関ともに課税関係は生じない。⑤ガイドラインによる債務整理を行なった保証人については、金融機関は信用情報機関に報告、登録しない。⑥ガイドラインに基づく保証債務の整理については、自動的に適用されないので金融機関に申し出る必要はない」。

また、専門家の派遣制度もある。詳細については、商工会、商工会議所、認定支援機関、中小企業基盤整備機構地域本部(中部：052-220-0516)まで。

愛印工・技術セミナー

「印刷現場を変える三つの秘策」 「森を見る」「気づく」「見せる」

KPMコンサルタント川名茂樹氏が講演

愛印工組・教育委員会(木村吉伸委員長)が主催する予防保全セミナーが9月26日メディアージュ愛知で開催され、講師に川名茂樹(株)小森コーポレーション・サービス企画部KPMコンサルタントを招き、「印刷現場を変える3つの秘策」をテーマで行なわれた。セミナー参加者は26名。

セミナーの冒頭松岡祐司副理事長が、「本日は、印刷現場の機長やオペレータが参加していると思うが、印刷機は高価だから簡単に入れ替えるということではできない。できるだけ今ある設備を良い状態で長く使うということが、収益改善の一番である。しかし、メンテナンスの仕方を解らずに行っている人も多いと思う。私共でもKPMをお願いし、講師の川名氏に半年ぐらいきてもらい指導を受けた。その効果は十二分に発揮されている。皆さん自身を守り、機械を守り、皆さんの雇用を守るためにも、今日のセミナーから何かノウハウを持ち帰り実践して欲しい」と挨拶。

また、(株)小森コーポレーションの佐賀政幸名古屋支店長が、「KPMセミナーを通して、予防保全の大切さや、メンテナンスについて紹介してきた。KPM活動をして、成功するお客様と上手くいかないお客様がある。成功するお客様に共通するのは、今日のテーマである『印刷現場が変わった』というのが一番大きな項目である。印刷現場が変わることによって、現場の



熱心に聴講する参加者

皆さんも会社全体もメリットを共有できる。何か一つでも二つでも実行していただければと思う」と述べた。

【川名講師の講演要旨】

印刷業界の現状と動向についてのデータを紹介した後、全印工連「産業成長戦略2010・ソリューションプロバイダーへの進化」に触れ、「上位・中位・下位の予測の中で、10年後の中位予測では出荷高は24%減、事業所数約5,000減、従業員数約8万人減としている。非常に見通しは暗い。暗いが明るい兆しはある。つまり、勝ち残ると売上げが12%増、従業員8%増となる。だからこの環境の変化に対応できる企業体質を作らなければならない」とした上で、「印刷会社が利益を生み出しているのは印刷物を製造している製造現場である。その現場が旧態依然としていては、利益を上げることはできない。だからこそ製造現場を変えなくてはいけない」と指摘する。

KPMの3つの目的を「KPMは人体の予防医学と同じで、①突発故障をなくし、②マシンライフを伸ばし、③品質向上、生産性の向上により利益を上げることにある」と前置きし、「機械の突発故障をなくす。突発故障修理は予防修理(計画工事)の3倍悪だ」といい、突発故障をなくすことの重要性に触れた。さらに、KPMの成功事例会社を紹介するとともに、「3つの秘策」について、「①森を見る＝工場診断で問題点をトータルにつかむ。そのためには、②気づく＝ハインリッヒの法則のように、一つのマシンダウンの前には、29の一般故障があり、そのもとには300の微故障がある。それは数千～数万の警告が機械から発信されている。通常と違う機械の発信に気づくことが重要である。③見せる＝印刷現場のショールーム化。能動的に常に第三者に見せられる状況にしておくことが重要」とした。

KPM活動の成功を保障するものは、「三者(経営者・管理者、オペレータ、KOMORI)である。①経営者・管理者は人・物・金・時間の投資。②現場オペレータは保全と改善活動。③KOMORIは性能保障とサポートする。この三者の役割がクロスする。そこに成功のカギがある」と結んだ。

(編集部：川名氏の講演要旨は12月号に掲載予定)

■日印産連セミナー

オフセット印刷工場の有機溶剤管理と オフセット印刷工場用VOC警報機

「VOC 警報器」共同開発
VOC 濃度が一定レベルに達するとメッセージで警報

日本印刷産業連合会（日印産連）はIGAS2015会期中の9月12日東京ビックサイト会議棟において、「オフセット印刷工場の有機溶剤管理とVOC警報器」をテーマに洗浄剤などの化学物質の適切な取扱いと、「VOC警報器」についてのセミナーを開催した。

日印産連は、印刷業界の化学物質管理レベルの向上を図り、各種の化学物質による健康障害防止対策を進めている。今回この活動の一環として、オフセット印刷工場における適切な化学物質の取り扱いをより一層進めるため、パンフレット「オフセット印刷工場の有機溶剤管理」を発行し、同時に、「オフセット印刷工場用VOC警報機」を新コスモス電機㈱（大阪市淀川区）と共同開発した。

セミナーは日印産連・労働安全衛生WG座長、P&Eマネジメント代表寺田勝昭氏が講師を務めた。寺田講師は、オフセット印刷工場におけるVOC（揮発性有機化合物）濃度について、「通常の印刷作業時は問題ないレベルだが、インキローラー洗浄時に高濃度で放散する」とした上で、「印刷作業員の健康障害防止対策として、濃度が一定レベルを超えると警報で注意喚起する『VOC警報器』の設置を呼びかけた。

VOC警報器のフィールドテストは、東京都印刷工業組合会員の5カ所のオフセット印刷工場でVOC濃度の継続測定を実施。その結果、通常の印刷作業時は200ppm以下（50～150ppm）で問題ないレベルだったものの、インキローラー洗浄時にピークとなり、5～20倍の1000ppmを超える高濃度になるケースが見られた。「VOCは目に見えないため、換気をするなどの初動を起こせないのが問題。VOC警報器によって、とても安価に安全管理ができるようになった」と寺田講師は強調する。

セミナーでは、共同開発した新コスモス電機㈱（大阪市）担当者が「VOC警報器」の説明とデモンストレーションが

■寸法＝横70×縦120×厚さ25mm（突起物除く）、重さ＝約200g、電源コード＝2.5m、標準付属品＝点検ガス、取付金具、皿ネジ、コード振れ止め
価格：48,000円（税別）



行なわれ、機能が紹介された。

■オフセット印刷工場用「VOV警報機」

「VOC警報器」(XH-981G)は、「GP資機材」認定製品として申請中であり、熱線型半導体式センサでVOCをトータルに検知し、VOC濃度が一定レベルを越えると、ランプと音声メッセージで知らせる。

■本体は警報部、検知部一体型のコンパクト設計で、設置場所はオフセット印刷工場の印刷機械デリバリ部（印刷物排出部）、印刷機械上部、印刷機と印刷機との間など。

■2年毎の交換期限をランプの点滅で知らせる。来年1月販売開始予定。希望小売価格は1台48,000円（税別）。

■警報方式は、赤ランプ点灯音声メッセージ（ウーウー、ピッポツ、ピッポツ空気が汚れて危険です。換気して下さい）と知らせる。ランプは、赤点灯（ガス警報）、赤点滅（ガス警報遅延中／遅延設定時）、緑点灯（通電時）、緑点滅（電源ON初期遅延中）、緑高速点滅（故障）、緑ゆっくり点滅（交換期限お知らせ）。

■交換期限お知らせ機能は、交換期限（約2年）を過ぎると緑ランプがゆっくり点滅。警報停止スイッチ操作にて「交換期限を過ぎています」と音声で知らせる。

■IGAS2015会期中、日印産連と印刷機メーカー4社（小森コーポレーション、桜井グラフィックシステムズ、ミヤコシ、リョービMHIグラフィックテクノロジー）のブースに参考出品され、来場者の関心を集めた。

■問合せ先：日印産連環境安全部TEL03-3553-6051

240線高画質高精細 カラー印刷を標準稼働中!!

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社
☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

幅広いニーズに対応するキャパシティと 工場24時間稼働体制でサポート

印刷ステーション
DAIKYU
株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL.052-262-0555 FAX.052-262-1043
関連会社/ ㈱太急・(株)山川

- OFFSET PRINTING
- UV PRINTING
- POST CARD・ENVELOPE
- BUSINESS CARD
- SEAL・封札加工
- OUT SOURCING

■「11月は過労死等防止啓発月間」です

厚生労働省では、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過労死ゼロを実現するために、健康で充実して働けることのできる社会を目指し、その啓蒙に務めている。

「過労死等」とは、業務における過重な負荷による脳・心臓疾患や業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする死亡やこれらの疾患をいう。国民一人ひとりが自分自身にも関わることとして、過労死とその防止に対する理解を深め、「過労死ゼロ」の社会実現が望まれる。そして、過労死を防止するために事業主が取り組むべきことに、「①長時間労働の削減、②過重労働による健康障害の防止、③働き方の見直し、④職場におけるメンタルヘルス対策の推進、⑤職場のパワーハラスメントの予防・解決、⑥相談体制の整備」などを挙げている。特に、事業者は労働者の健康づくりを積極的に支援し、一方、労働者は自らの健康管理に努めることが必要としている。また、メンタルヘルスやパワーハラスメントでは、その対策と予防など積極的な取り組みが重要としている。



■愛知県印刷工業組合 「創立60周年記念事業」のご案内

愛知県印刷工業組合は1954年(昭和30年)に新たに発足以来60周年を迎えました。これを記念し、平成28年1月13日名古屋東急ホテルにおいて「創立60周年記念事業」を開催いたします。組合員の皆さんが一人でも多くご参加いただきますようご案内申し上げます

□日 時：平成28年1月13日(水)、13:30～19:30

□会 場：名古屋東急ホテル

□参加費：祝賀会1人15,000円

(記念講演および記念式典は無料)

□構成：記念講演、記念式典、記念祝賀会

=記念講演の案内=

講師：山野千枝氏、演題：女編集長が地域を変えた！
ものづくり企業再生プロジェクト「ゲンバ男子」

講師を務める山野千枝氏は、コンサルティング会社な

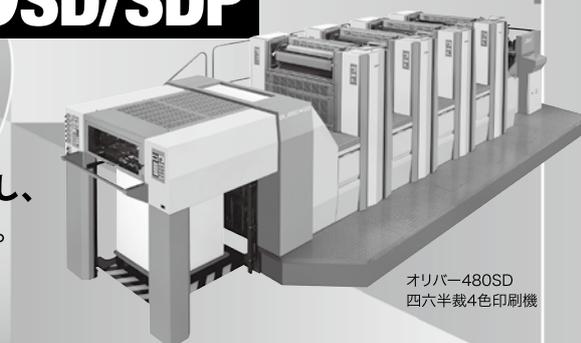
どを経て、大阪市の中小企業支援拠点に入り、ここで情報誌の編集長に就任。就任以来2,000社を超える取材活動を行なうが、そこで実感したのが「若い人が来ない」という中小企業の切実な声。いわゆる3K(きつい・汚い・危険)のイメージが付きまとう。これを払拭すべく町工場で働く男達を、プロのカメラマンが撮影しインターネットサイトで紹介。彼らを「ゲンバ男子」と名付けた。山野氏はその仕掛け人でもある。「ゲンバ男子」は、大阪でものづくりに携わる35歳以下の男子。サイトは評判になり、町工場の活性化やサイトを見て就職を希望してきた若者も現れた。大阪のみならず全国展開も始まった。今、中小企業の熱い期待を集めている。

「ゲンバ男子」の仕掛け人が語る企業再生の秘策！

四六半裁 OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。



大好評！オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本 社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL. (03) 3643-1131 (代) FAX. (03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL. (0575) 35-2551 (代) FAX. (0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL. (06) 6308-6651 (代) FAX. (06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL. (092) 741-2672 (代) FAX. (092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL. (0575) 33-1260 (代) FAX. (0575) 33-3146



60周年記念 前夜祭のお知らせ

愛知県印刷工業組合60周年記念事業の前日に、名古屋而立会が企画した前夜祭において記念講演会を開催いたします。

- 日時:平成28年1月12日(火)、18:00～20:00
- 会場:ウインクあいち(10階1001大会議室)
- 講師:山本賢治氏(㈱コミュニケーションCEO&Founder)
- 演題:これからの企業リーダーに求められること

企業を取り巻く環境は急激に変化を遂げ、グローバル化待ったなしの状況に直面しています。多くの日本企業がこの変化の波に乗り遅れているかもしれません。日本企業が世界で戦っていくためには、日本とは違う世界の常識や価値観、世界で活躍するリーダーが持っている考え方を知ることが重要です。外資系企業で活躍してきた山本氏が自身の経験から導き出したリーダーの資質を、当時のエピソードやステイブ・ジョブズから学んだことを交えながらお話しします。

「Print Doors 2016」第52回光文堂新春機材展

原点、そして未来へ。70.80.90.100年

㈱光文堂(讃岐秀昭社長)は、平成28年1月27日・28日の2日間にわたって名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開催する「Print Doors 2016」のポスター趣意を発表した。

【讃岐社長のコメント】

「光文堂は、2016年に創業70周年を迎えます。この記念すべき年の『Print Doors』は、次の80年、90年、100年に向けてすべての関係者の皆さまと共にもますます発展していくことを願って開催いたします。

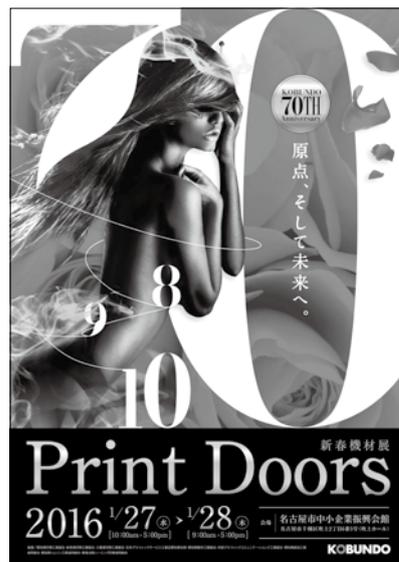
今年のポスターのメインビジュアルは『まだ見ぬ未来の新しい生命』を表した幻の生きものです。小さな角をたずさえた彼女は人間とも違う、動物とも違う、新しい生命体であり、まだ誰にも発見されていない可能性の源です。彼女は、次の80年、90年、

100年に向けた未来の時間を体に纏い、未来の希望を示唆しています。

原点を軸にさらなる挑戦を重ねて未来への扉を開けば見たことのない世界、聞いたことのない方法、体験したことのない成功にきっと出会えるでしょう。輝く未来への扉『Print Doors 2016』に、ぜひお越しください。

総合印刷機材展として毎年1月に開催されている同展は、今回で52回目の開催を迎える。昨年も最新の印刷・製版・製本・紙工関連の機材が一堂展示され、印刷業界の抱える各種課題の糸口を見つける機会として好評を博した。

52回を迎える今回も最新の印刷・製本関連の機材が数多く展示され、印刷企業の経営基盤を確立するためのヒント、将来に向けた設備計画の方向付けを模索する場とな



「Print Doors 2016」のポスター

ることが期待される。

【開催概要】

▽会期=平成28年1月27日(火)・28日(休)

▽会場=名古屋市中小企業振興会館・吹上ホール(名古屋千種区吹上2-6-3)

編集だより

■今年も残り2ヶ月を切りました。今年の冬は厳寒なのか暖冬なのか!もう気になり始めた今日この頃です。全印工連60周年

記念事業が行なわれ、その記事がトップになりましたが、愛印工も60周年を迎えました。記念事業では、記念講演、式典、祝賀会と目白押しです。組合員の皆さんあつての事業です。是非、ご参加下さい。

人と人の
コミュニケーションに
大きく関わっている色
この色のチカラで、
人の心をもっともっと
豊かにしたい……と
考えています。

色のチカラ

色彩の。

東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

名古屋支店 〒452-0813 名古屋西区赤城町112
TEL 052-503-3321(代表) FAX 052-503-6315
本社 〒114-0012 東京都北区田端新町2-7-15
TEL 03-3893-5151(平版インキ営業本部)

あいの印刷

No.528

平成27年11月10日発行

発行人 木野瀬吉孝
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

- ◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
- ◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp



napsは、DTPの?に 処方箋をお出しいたします。

DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、
ネットワーク対応の度合いを進化させています。
その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォーム化の現在、
ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

株式会社 ナプス

〒466-0058 名古屋市昭和区白金三丁目7番6号
TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



2015年2月1日よりリニューアル

多言語対応電子配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス



カタログやチラシ、パンフレットなど、あらゆる印刷物をスマートフォンやタブレット端末に向けて手軽に配信できる、多言語に対応したクラウドサービスです。

モリサワ

株式会社モリサワ 〒556-0012 大阪府大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151

●記載されている会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

www.morisawa.co.jp

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用商材

Printing Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)

king 株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

Hit

見つける。その感動を、つなげていく。

KOBUNDO

KBD NEW PRODUCTS

オンデマンドUV-LEDインクジェットプリンタ
KBD compress HS
デュアルUV-LEDランプで
硬化スピードが従来の3倍に!

A2印刷
面積
300高さまで
対応
mm可能



デジタルホットスタンププリンター
KBD デジハクAF

オンデマンドで箔を
印刷する



ユーザビリティな動画サイトを簡単操作で
実現するCloudサービス登場!

KBD ムービング セレクション
MOVING SELECTION

- 複数の動画をブラウザで一括表示
- インデックス機能でカテゴリ分け表
- 登録や表示ON/OFFがカンタン!



Web動画をラクラク一覧表示

オゾンレスUV装置
KBD LED-LUV イー・ジックス
先進のテクノロジーが、
すでにある印刷機をも進化させます。

UVニスでオンデマンド印刷物に付加価値を与える!
KBD デザインニスコーター

6種類のニス柄が付いたローラーで、
印刷物の表面を保護しながら
付加価値の高い
ニスコーティング
を実現。



LEDムービングライト
KBD Moving Light series

コンパクトなボディから発する迫力のビームで
クリエイティブな空間演出を

KBD
ムービングトレンドLEDライト
KBD MovingTrend LED Light

KBD
ムービングビームライト
KBD MovingBeam Light

KBD
トレンドLEDライト
KBD Trend LED Light



精密紙揃機
KBD μ-Paper Jogger

卓上型デジタル計数器
KBD μ-Count Scale mini

乾式潤滑・清掃剤
KBD μ-Fusso Coat

静電気がおきにくい
新発想のジェルタイプ乾式
潤滑・清掃剤

ダブル扇状振動で
専門技術のいらない
紙揃機

紙の形状にかかわらず、
正確に枚数を数える
卓上型計数器

刷版データ比較 刷り出し・抜き取り検査装置
KBD Micro-vision®
PDF Matching Sheet Scanner

真に実用的な
「スタートプレス」
検査装置

イルミネーションサイネージ ~光の空間装飾~
KBD Illuminations
イルミネーション

販促や宣伝用の空間
演出の提案をしてみ
ませんか?



画像データでリアルな試着ができる!
KBD パーチャルサライズ New Try On

着替えないこれからの試着!
360°
ホーズに
合わせて
リアルな試着!

製本機ローラー洗浄剤
KBD 別ニラ ECO

貼るだけで3Dの効果を実現
KBD 3Dラミネートフィルム

メディアに出力した後、
ラミネートするだけでレンズ効果で3Dに!

防水球体型サイネージ
KBD GURU LED
NEWシリーズ40・50・60

2つのビジュアルを同時に表現!
インパクトの高いLEDサイネージ!!



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄